



春日井ロータリークラブ
2014～2015 年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

ロータリアンのフェロシティで、 世界・地域に、何か良い事をしよう！

植物園 ニュートンのリンゴの木

会 長：加藤 久仁明 例 会 日：金曜日 12:30～13:30
副 会 長：蓮野 美廣 例 会 場：ホテルプラサ勝川
副 会 長：山田 治 事 務 局：春日井市鳥居松町5-45
幹 事：近藤 太門 T E L：(0568) 81-8498
会報委員会：長谷川 英輝 F A X：(0568) 82-0265

E-mail: ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



本日のプログラム

- | | |
|---------------|---------|
| ・点 鐘 | 和 田 了司君 |
| ・ ROTARY SONG | 加藤久仁明君 |
| ・ 今月の歌 | 「奉仕の理想」 |
| ・ ビジター紹介 | 「海」 |
| ・ 食事・歓談 | 加藤久仁明君 |
| ・ 委員会報告 | |
| ・ 会長挨拶 | 加藤久仁明君 |
| ・ I D M | 河 文 |
| ・ 幹事報告 | 近藤 太門君 |
| ・ 点 鐘 | 加藤久仁明君 |

今月の歌

海
松原遠く 消ゆるところ
白帆の影は 浮かぶ
干網浜に 高くして
かもめは低く 波に飛ぶ
見よ昼の海 見よ昼の海

2014年8月29日(金)2197回(8月第4例会)

※ 次週予告

次週 8 月 29 日は I D M を行います。場所は中区の「河文」にて 18 時

◎例会変更の案内

尾 張 旭 RC	9月12日(金) 9月13日(土) 18:00 月見例会の為 良福寺
瀬 戸 RC	9月10日(水) 9月10日(水) 12:15 歓迎例会の為 商工会議所
羽 島 RC	9月2日(火) 9月3日(水) 12:30 ガバナー公式訪問の為 フォーラムホテル
名 古 屋 名 北 RC	9月10日(水) 9月9日(火) 合同夜間例会の為 望洲楼
岩 倉 RC	9月9日(火) 9月9日(火) 12:30 パスタ例会の為 ダールフルット
名 古 屋 東 RC	9月1日(月) 9月1日(月) 夜間例会の為

先週の記録

幹事報告 幹事 近藤 太門君

※ 地区からの連絡はありません。
※ 春日井市緑化推進協議会から「花のまちづくりコンクール」の二次審査が行われます。その為審査委員として出席要請が来ました。
日時 平成 26 年 9 月 16 日 (火) 午前 9 時～
場所 市役所 3 階 304 会議室です。
出席要請は加藤会長です。
※屋嘉比前会長に春日井市社会福祉協議会から「第三回評議会」の開催延期の連絡がありました。
次回の日程は未定との事です。

出席報告

委員長 伊藤 純君

会員 57 名	欠席 18 名	出席率 82%
先々週の修正出席	欠席 1 名	出席率 98.2%

ニコボックス報告

委員長 古屋 義夫君

○祝福の皆さんおめでとうございます。
加藤久仁明君
○誕生日の祝福ありがとう、お陰さまで 70 歳になりました。
屋嘉比良夫君
○誕生日です。ありがとうございます。
名畑 豊君

会員増強及び拡大月間

例 会	9 月 5 日 (金)	9 月 1 2 日 (金)	9 月 1 9 日 (金)	9 月 2 7 日 (土)
予 定	理事役員会 11:30 テーブルミーティング 入会式	卓話 自己紹介大橋省吾君 小川茂徳君	祝福 卓話	家族会 13:00 ミュージカル 「美女と野獣」

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

○広島県安佐南区の友人のパン屋が無事でホッとしました。社本 太郎君
 ○卓話をやらせていただきます。風岡 保広君
 ○一寸といい事がありました。早川 八郎君
 ○祝福の皆さんおめでとうございます。近藤 太門君
 ○夏風邪をひきました。皆様もご注意を！青山 博徳君
 ○いつも有難うございます。大橋 省吾君
 ○アテンダンス表彰をうけて！加藤 茂君
 ○アテンダンス表彰を受けた喜びで！貴田 永克君
 ○祝福をうけて 場々大刀雄君
 ○卓話 松尾 隆徳君
 ○家内の誕生日に花を頂きありがとう。山田 治君
 ○祝福の皆様おめでとう 和田 了司君
 ○今日も宜しくお願ひします。
 足立 治夫君 磯野 俊雄君 伊藤 一裕君
 太田 弘道君 大畑 一久君 岡田 義邦君
 岡嶋 良樹君 河村 哲也君 加藤 宗生君
 北 健司君 小島 啓治君 志水ひろみ君
 芝田 貴之君 朽本 正樹君 宅間 秀順君
 峠 テル子君 中島 宗幸君 成瀬 浩康君
 長谷川英輝君 蓮野 美廣君 古屋 義夫君
 ○ご協力ありがとうございます。 古屋 義夫君

卓話 風岡 保広君

この8月は、会員増強及び会員拡大月間ということで、会員増強委員長の私が、卓話をさせていただきます。

今期に入ってから、大橋君が新入会員第一号として入会され、さらに8月の理事会で小川君の入会が承認されました。まもなく小川君の入会式が行われると思いますが、結果として今期に入って2名の新会員を迎えることが出来ましたが、今年の増強目標は、65名の会員数を達成せよという会長の目標がでております。

大変厳しい目標ですが、これも委員会のメンバーだけでは、増強の限界がございます。何とか皆さんの御協力をいただきますようお願いいたします。

春日井RCは昨年8名の新しい会員を迎えました。素晴らしい会員の皆さんです。若い人の入会で、非常に活気が出て、春日井RCがいい方向に進んでいると確信しております。

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。その第一として、奉仕の機会として、知り合いを広めること。すなわちより多くの会員で、質の高い奉仕をなさないと、うたわれております。要するに会員を増やし

て、より質のいい奉仕をせよ、ということではないかと思ひます。

春日井は、30万都市でございます。理想としては、50人規模のロータリークラブが3クラブあり、純粋なロータリーの理念が追求され実践されるのが理想ではないかと思ひます。そういう意味では、現在1クラブ会員58名というのは、ちよっとさびしい気がいたします。

春日井市のように30万人の人口であれば、150人程度の会員がいてもおかしくはありません。とにかく今は、ロータリーの理念を実現するために、会員を増強し力をつけるということが、最優先されるということでございます。ただし、増強を優先する余り入会審査をおろそかにしてはいけません。入会にあたっての審査は厳密にしなければいけません。だれでもいいというわけではございませんので、誤解のないようにしてください。

8月8日のクラブ協議会のなかで、私の勘違いから、「ロータリー研究会」は、会員を増やさないほうがいいという考え方だと発言しましたが、これは私の思い違いでございますのでお詫びして訂正いたします。



祝福 会員誕生日



卓話 風岡 保広君

#12 Galanza Arachel

あしながおじさん 加藤 宗生

おじさんこんにちは、あしながおじさんへの3通目の手紙で、学んでいることや、学生として忙しくしばられていることや、年少の兄弟のお姉さん、そしてお母さんの娘としての日々の活動をお知らせしたいと思います。

「いま」それは学校にあります。でも再開にはもっと待たなくちゃいけません。今日起こったことを最初にお伝えしようとはおもいません、昨日のことをお伝えしたいのです。それは「夏」のこと。夏をとりもどして！夏には沢山のことを経験して、良いことが心に刻まれる思い出として残ります。学校の年度は既に終了し、私の8年生も終了しました。私はやるべきことの階段をもう一段のぼり切ることができて嬉しいです。また、私はあしながおじさんに金銭的な援助をしていただいたことに、家族に道徳的な援助をしてもらったことに、神様に継続する力を与えて頂いたことに感謝したいと思います。おじさん、私は幸運なことに、見事に8年生の中で、5番目の名誉ある成績を収めました。

最近の夏休みの時期、私はいつものように料理や、家の掃除や、お母さんの洗濯の手伝いといった家事をしています。ご近所にテーブルやイスをレンタルする仕事をしている方がいて、私たちの時間があるときに、食べ物の汚れやシミのある使用後のイスとテーブルを洗う仕事をさせてくれます。私たちがこうしたモノを洗うと、お金を稼ぐことができます。

私たちは、また、聖なる週を祝います。キリストの受難と十字の苦難を。たいてい教会にいき、ミサに参加して行列に加わります。復活祭の日曜日には、神の復活の行列に参加します。私は、お父さんがまだ生きていた時のことを思い出しくなります。お父さんはいつも、こうしたすべての行事と一緒に参加してくれました。

自由になる時間には、テレビを見ています。あなたの方の国の番組が吹き替えられています。「どーも君」「ナルト疾風伝」そして「ポケットモンスター」です。私はたいていポケモンを見ています。私はまた、あなたの国の特徴を見てますよ。一番はハローキティーです。私は、彼女のお城の中の装飾のすばらしさに本当にびっくりしてしまいました。

もし、大きくなったら何になりたいかと聞かれれば、私の気持ちは変わらず、わたしの求める道を選びます。私は今も先生になりたいです。なぜなら、私の知識、私が学校で学び子供が求めること

を伝えたいからです。子供たちがこの国のよき市民となるよう育成したいのです。子供たちに自分達が学ぶことこそが、彼らの人生を持たざる者から持てる者へ向上させるよりよき未来への鍵であるということに気付いてほしいのです。また彼らには、人生は時に楽しく、時に忍耐が必要なもの、全てのことはバランスが必要だと捉えてほしいです。

先生になるという計画を通して、私はフィリピン人の安定した雇用に貢献できると信じています。私はあなたの国、日本の人々に強い感銘を受けました。人々はとても勇気があり、取り組むあらゆることにたいして忍耐強い。みなさんは、家族を養い、息子や娘を学校へ通わせるために、懸命に働いています。

人々は家族を養うために十分な仕事があれば、だれも犯罪者になるような悪事に手を染めるようなことはない、私は信じています。こうしたことを通じて、この国も犯罪発生率の低い平和な国になることでしょう。



私は決して人生におけるこのチャンスを忘れません。あなたが私を特に金銭的に援助してくださり、私が一生懸命勉強を頑張って、家族を助け近い将来この国の人を救うことを後押ししてくれたこと

を。ありがとうございます。神のご加護を。

アラセル ガランザ

#14 Pino Criszelea Joy

あしながおじさん 大橋 完一

あしながおじさんにとって、とても素晴らしい日でありますように。ご機嫌いかがですか。健康でお元気なお祈りしています。バリバリ働いていますよね！！

私は（たいてい）夏休みを家で過ごしています。私は、お母さんの家事を手伝っています。なぜなら、3月にお母さんは筋腫の外科手術を受け、働いたり動いたりすると傷口にひびくからです。本当にお母さんが手術を乗り越えたことが嬉しいです。

筋腫の手術の時には、まだ私たちには学校があり、お父さんはお母さんを自分で面倒を見ることができるよう、手術以来仕事を辞めました。それで家族全員で夏休みを過ごすことが出来たので、本当に幸せです。家族がお互い引っ付くほど一緒に

いられて、とっても楽しいです。お父さんは家族をセブの町に、映画を見に連れて行ってくれました。わたしにとって映画を見るという経験は、一家団らんなのです。そこで「ロボコップ」を見ました。IMAX（という巨大画面シアター）を見るのは初めてで、大迫力で、本当に目に焼き付いています。本当に大好きなので、ずっといつまでも心に残したいと思います。

お父さんが働いているときは、めったにお父さんに会えず、家族一緒に過ごせる時間も少なく、本当にお父さんや一家団らんが恋しかったです。お父さんが帰宅するのは夜遅くの8時で、朝すぐに仕事に出て行ってしまいました。

私は、お父さんが、私のお父さんで、私たちと会う時間を見つけてくれることにとっても感謝しています。お父さんはいつも、ただ私たちの日々の生活を維持するためだけに懸命に働きます。両親は、決して「家族が苦しい状況である」と私たちに感じさせず、両親がそれを解決したときに、初めて私たちは気づきます。また、両親は決して私たちに、裕福とも貧乏とも感じさせませんし、本当にそんなことは私にとって重要ではありません。私は家族が幸せで、家族に強い絆がある限り、お金のことは全然気になりません。

4月2日は、私たちの学校の表彰日でした。残念ながら、私は表彰されませんでした。私自身よかったと思っています。なぜなら、私は「すべての事象には原因がある」と信じているからです。今年より最善を尽くそうと誓いました。今年の目標の一つは、上位にランクすることで、きっとできると私自身が信じていれば、それは叶うことは解っています。わたしは私自身のためでなく、家族のため、そして私の未来のために頑張ります。表彰日に両親はプレゼントをくれました。映画を見ることを許してくれたのです。このフィリピン映画のタイトルは「パンゲットの日記」で、醜い10代の女の子が、一流モデル学校に通う機会を与えられるという話です。でも、お気づきのように彼女は醜いのに、いったいどうやってそんなチャンスをつかんだのでしょうか？本当に面白いです。彼女はいつも日記をつけ、日記を通して彼女自身を表現します。それで、タイトルが「パンゲットの日記」なのですが、パンゲットというのは醜いという意味なので「醜い少女の日記」というのがタイトルの意味です。私はこの映画からたくさんの教訓を学びました、そして、この優しい映画を見させてくれた両親にも感謝します。

夏休みは、従妹の一人と一緒に過ごしました。彼女はキアラ・リム、11歳で、本当に可愛いです。彼女には、一所懸命勉強し努力して、時間を無駄にせずお母さんや妹、お兄さんを助けなさいと励ましました。ただ彼女が耐えさえすれば、私には

彼女の明るい未来が見えます。なぜなら、私たちを悩ますどんな環境も、私たちの夢や未来の覆い隠すものにはならないし、そのかわりに神様が「夢へのステップ」として与えてくれた課題と考えるべきと、私は信じているからです。私たちの夢もしくは未来は、成功へ最後の一方を踏みしめるためにある「一本のまっすぐな道」のようです。

キアラはおしゃべりで、彼女は舞台芸人のように私たちの家をにぎやかにしてくれます。授業の最初の日は、はやく出発して新学期にすこし興奮しつつも、キアラが自分の家に帰ってしまうので悲しくなることでしょう。本当に寂しくなります。学校の日々はすぐやってくるので、学校の持ち物準備をしたり、新学期にむけて心の準備もしたりしなければなりません。準備の一つは「ブリガダ・エスクエラ」です。それは全員で学校を掃除することで、学校の初日は荷物を持っていきません。新学期はとても興奮すると同時にドキドキします。

私はあまり長く手紙を書こうとは思っていません。上手く書けているかわかりませんが、たくさん考えていることがあって、でもどうやって書いたらいいかわからないし、あなたにただ言いたいことを表現することができないのです。健康に気を付けてください、健康は財産ですから十分に休養することは忘れないで。そして、この奨学金プログラムが継続することを望みます。大勢の生徒が、奨学金を望んでいます。私は本当にこの素晴らしい機会をくれたおじさんに感謝しています。この奨学金プログラムの機会が私にくれたものは、もっと努力する、もしくは人生の別のステップを踏みだすきっかけでした。私がなにを持っているか、自分が何者かということに、今は満足しています。でも、私たちは一方で、さらにもう一段高いステップを踏み出す必要があるのです。人生では「変わらないもの」はなく、地球上でのただ一つ「変わらないもの」は「変化すること」だけです。悪い方向ではなく良い方向へと変わらしましょう。私はいつも人生の旅において、上のレベルへ上る階段を宝物のように大切にします。改めて感謝申し上げます。最近の写真と同封できなくてごめんなさい、頑張ったのですけど叶いませんでした。4通目ではきっと写真を同封することを約束します。私の手紙に満足していただければ幸いです。そしてお会いすることを楽しみにしています。奨学生の最後の日にお越しいただき、お会いすること、そして顔を拝見して、直接お礼を申し上げることが出来ることを期待しています。

愛をこめて クリスジェラ・ジョイ・ピノ